

請 願 文 書 表

(平成28年3月18日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第10号 (28. 3. 9) 沖縄県辺野古沖の米軍基地建設について地方自治の尊重を要請する意見書提出を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>昨年10月、翁長雄志沖縄県知事は前知事による米軍新基地建設のための辺野古沖・大浦湾の埋め立て承認を取り消す処分を行った。ところが政府は、知事の処分の執行停止を決定した上、代執行を求める裁判を起こしている。辺野古では、連日、抗議する市民を機動隊や海上保安官の暴力で排除して工事が続けられている。このような力づくでの基地建設が黙認されれば、政府は全国どこにおいても地方の判断をことごとく無視することが可能となってしまう。</p> <p>沖縄県には在日米軍の専用施設の74%が集中している。県民は米兵による強姦事件、米軍機の墜落、騒音等の基地被害に苦しめられ続けている。沖縄が第二次大戦において本土防衛の捨て石とされ、人口の5分の1に当たる12万人の民間人が犠牲となり、27年間もの間、米軍の軍政下に置かれてきたことを考え合わせれば、これ以上の犠牲を沖縄県民に押し付けることは許されない。</p> <p>普天間基地も沖縄県民の土地を取り上げて造られた。それを返還する条件として、ジュゴンやサンゴ等260種以上の絶滅危惧種を含む海洋生物が住む豊かな海を埋め立て、最新鋭の基地を押し付けようとするのはあまりに理不尽である。</p> <p>神戸市では昭和50年に非核神戸方式が採用されて以来、一隻の米艦船も入港していない。私たちは、神戸市が非核神戸方式により港と市民の平和を守ってきたことを評価するとともに、沖縄県が米軍基地による犠牲をしわ寄せされ、地方自治を踏みにじられている現実を憂慮している。</p> <p>よって、沖縄県名護市辺野古沖の米軍基地につき、神戸市会が政府に対して地方自治の尊重を求める意見書を提出するよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 辺野古の海に基地をつくらせない神戸行動 山 崎 亨 ほか1名 その他署名者あり (申告数300名)</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) あわはら 富夫 松本 のり子 浦上 忠文</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>総務財政委員会</p>